

を認識してもらい、まず行動を起こしてC（企業の社会的責任）

辻部会長、サプライズに涙

つ。
2015年度は、勉強会の青年塾、家族交流会に加え、他県青年部や異業種との交流会も企画する。予算は173万円。

村木尚哉副部会長の発案

三ト協青年部会

で、辻氏の46回目の誕生日を祝つサプライズパーティーが行われた。事前に知らされていなかった辻氏は、パースデーケーキを前に、感激のあまり目に涙を浮かべていた。

卒業者には記念品贈呈



また、50歳定年で青年部会を卒業した中山商運（松阪市）の中山豊社長と旭物流倉庫（鈴鹿市）の小林和紀社長に記念品を贈呈。中山氏は「最初は軽い気

会などに出席したことで、人脈が大きく広がった。代わりに息子を入会させたが、本音で語り合える仲間を作って欲しい」と話した。

（星野誠）

パースデーケーキを前に肩を組む、中山氏（左）、辻氏（中央）、小林氏

参加者は